

厚生労働省
神奈川県労働局発表
平成25年8月29日

【担当】
神奈川県労働局労働基準部健康課
課長 中村 宏彰
労働衛生専門官 金子 正雄
(電話) 045-211-7353
(FAX) 045-211-0048

職場における熱中症予防対策の徹底を！

——平成25年県下において2件の死亡災害発生——

神奈川県労働局(局長 久保村 日出男)は、猛暑が続く中、本年7月12日及び8月12日に熱中症による死亡災害が2年ぶりに発生したことを受け、職場における熱中症対策を徹底することを緊急要請しました。

神奈川県下において、本年7月12日、2年ぶりに、廃棄物処理業に従事していた30代の男性が、8月12日には交通誘導業務に従事していた40代の男性が、熱中症により死亡しました。

本年の全国の職場における熱中症による死亡者数(速報値)は7月末時点で15名に達し、記録的猛暑であった平成22年に迫る状況です(平成22年は全国で47名が死亡)。業種別には製造業7名、建設業3名、農業、陸上貨物取扱業、林業、清掃業、警備業各1名となっており、屋内作業場での発生が例年より多い傾向にあります。

神奈川県内においては、本日までに2件の死亡災害が発生したほか、休業4日以上熱中症災害が7件発生(7月末時点速報値)しており、多様な業種において災害が発生している状況です(別紙参照)。

神奈川県内における猛暑日数は、3名の死亡者が出た平成22年と同様の状況であり、今後の熱中症災害の発生について厳重な警戒が必要な状況です。

神奈川県労働局では、毎年暑さが本格化する前の5月中旬から集中的に熱中症予防対策の徹底に係る広報等を実施するとともに、管下12の労働基準監督署において、事業場に対する指導等を行ってきているところですが、死亡災害が発生したことを踏まえ、暑さが残る9月中も予防対策を継続するよう労働災害防止団体等に対して、緊急要請を行ったところです。

1 死亡災害発生概要

発生年月日	業種 年齢 性別	発生概要
平成 25 年 7 月 12 日	廃棄物処理業 30 才代 男性	廃棄物収集のためのトラック運転中の被災者の異変に助手が気づき、休憩させたが、容態が悪化したため、救急車により搬送された。その後治療を受けていたが、8 月 4 日死亡したもの。
平成 25 年 8 月 12 日	警備業 40 才代 男性	午前 8 時から建設現場の交通誘導業務に従事中、熱中症で死亡したもの。

2 休業 4 日以上の熱中症災害（平成 25 年 7 月末時点速報値）

・ 業種別内訳

建設業、保健衛生業、製造業、農業、商業、廃棄物処理業、その他業種、それぞれ 1 件

